



平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月24日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
 コード番号 3660 URL <http://www.istyle.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5785)8902
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	1,480	—	180	—	179	—	109	—
24年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 110百万円(—%) 24年6月期第1四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	9.05	8.22
24年6月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、平成24年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。したがって、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は当該分割調整後の数値を記載しております。

2. 平成24年6月期第1四半期は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、平成24年6月期第1四半期に係る記載及び同期間との比較は行っておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第1四半期	3,708	2,375	63.2
24年6月期	3,389	2,263	65.9

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 2,342百万円 24年6月期 2,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,129	45.3	261	△25.9	241	△34.0	144	△36.0	11.76
通期	6,426	44.2	726	18.2	702	14.8	424	14.5	34.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) - 、除外 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

* 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期1Q	12,270,000株	24年6月期	12,270,000株
② 期末自己株式数	25年6月期1Q	203,800株	24年6月期	235,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期1Q	12,049,026株	24年6月期1Q	-株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・ この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・ 平成25年6月期の連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、本書提出日前日までの新株予約権の行使による増加株式数を反映させて算出しております。

(株式分割について)

- ・ 当社は、平成24年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割行われたと仮定し、平成25年6月期第1四半期の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き東日本大震災の復興需要等を背景とした緩やかな回復の動きがみられるものの、電力供給問題や世界経済及びアジア諸国を取り巻く環境への先行き懸念等、依然として不透明な状況で推移いたしました。

そのような状況下で、わが国のインターネットの利用状況は、スマートフォンや多機能端末等の普及が本格化し、日常生活におけるインターネットの影響力がより一層高まっております。特に携帯電話でのインターネット利用に関しては、平成24年9月末現在、携帯電話契約数は1億3千2百万件、そのうち高速データ通信が可能な第三代携帯電話契約数は1億2千3百万件に達し、全端末のうち約96%は高速データ通信が可能な状況となっております（電気通信事業者協会調べ）。

スマートフォンに関しては、半導体をはじめとする主要部品の供給不足や新製品の買い控えなどにより、平成24年4月～6月における国内出荷台数が788万台（前年同期比4.2%減）と4四半期ぶりのマイナス成長となったものの、依然として国内携帯電話出荷台数の65.3%を維持するなど、高い比率を維持しております（IDC Japan株式会社調べ）。

このような環境のもと、当第1四半期連結会計期間末現在、「@cosme」の月間ユニークユーザー(UU)数は約623万UUとなりました。メディア事業については、ブランドファンクラブ(旧ブランドコミュニティ)サービスにショッピング機能を追加することで、ユーザーとのコミュニケーションを促進するだけでなく、商品購入に繋げるサービスへと刷新いたしました。その他、ブランドファンクラブサービスと連携し、外部ソーシャルメディアであるFacebook上でのキャンペーンが実施できる、「@cosme×モニブラ for Facebook」サービスの提供を開始するなど、引き続き収益拡大に向けた取り組みを実施して参りました。EC事業・店舗事業においては、引き続きメディア事業との連携の強化を、また、その他事業においては、前期から株式会社アイスポットが新たに当社グループに参画し、営業体制の見直し及び他事業とのシナジーを生かした各種施策の展開を行った結果、販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、当社グループの売上高は1,480,921千円となりました。利益面につきましては、売上原価や販売費及び一般管理費の抑制により収益性の向上に努めて参りました結果、営業利益180,807千円、経常利益179,886千円となり、四半期純利益109,096千円となりました。

なお、当社は、第1四半期の業績開示を当第1四半期連結累計期間より行っているため、前年同四半期連結累計期間との対比は行っておりません。

各セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①メディア事業

当第1四半期連結累計期間においては、特にブランディング型広告サービス、レスポンス型広告サービス、アフィリエイト広告サービス、ブランドファンクラブサービス等の販売が好調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は713,942千円、セグメント利益は127,666千円となりました。

②EC事業

当第1四半期連結累計期間においては、特に「cosme.com」独自のポイントキャンペーンや「@cosme」で展開する「おトク de @cosme」からの誘導等、メディア事業との連携強化等により「cosme.com」本店の販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は149,459千円、セグメント利益は13,931千円となりました。

③店舗事業

当第1四半期連結累計期間においては、9月に上野マルイ店の大幅なりニューアルを実施いたしました。また、ルミネエスト新宿店・ルミネ池袋店を中心に9月の連休中の販売が予想を大幅に上回る等、順調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は455,028千円、セグメント利益は15,102千円となりました。

④その他事業

当第1四半期連結累計期間においては、営業体制の見直し及び営業面で他事業とのシナジーを生かした各種施策の展開を行いました。また、メディア事業より移管したキャリアサービスの販売が予想を大幅に上回る等、順調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は162,492千円、セグメント利益は13,571千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ318,904千円増加し3,708,603千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ220,518円減少し2,376,814千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が70,665千円増加したものの、法人税の支払等により現金及び預金が298,066千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ539,423千円増加し1,331,788千円となりました。これは主に、海外子会社（香港、シンガポール）の設立等による子会社株式の増加、並びに資本提携に伴う投資有価証券の増加があったこと等によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ207,595千円増加し1,333,478千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ89,047千円減少し897,907千円となりました。これは主に、買掛金が74,181千円増加したものの、未払法人税等が148,659千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ296,642千円増加し435,571千円となりました。これは主に、銀行借入を行ったため長期借入金が297,440千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ111,309千円増加し2,375,124千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年7月31日の決算短信で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,653,490	1,355,423
受取手形及び売掛金	684,362	755,027
商品	197,812	220,051
その他	71,472	57,732
貸倒引当金	△9,804	△11,420
流動資産合計	2,597,333	2,376,814
固定資産		
有形固定資産	116,131	115,316
無形固定資産		
のれん	77,100	73,245
ソフトウェア	381,088	362,338
その他	14,920	67,201
無形固定資産合計	473,108	502,785
投資その他の資産	203,125	713,686
固定資産合計	792,364	1,331,788
資産合計	3,389,698	3,708,603
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,589	206,770
1年内返済予定の長期借入金	127,060	155,770
未払法人税等	205,884	57,224
賞与引当金	9,649	36,636
ポイント引当金	15,074	20,410
その他	496,697	421,096
流動負債合計	986,954	897,907
固定負債		
長期借入金	134,100	431,540
その他	4,828	4,031
固定負債合計	138,928	435,571
負債合計	1,125,883	1,333,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,638	923,638
資本剰余金	869,979	864,164
利益剰余金	486,485	595,582
自己株式	△47,080	△40,760
株主資本合計	2,233,022	2,342,625
少数株主持分	30,791	32,499
純資産合計	2,263,814	2,375,124
負債純資産合計	3,389,698	3,708,603

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,480,921
売上原価	458,557
売上総利益	1,022,363
販売費及び一般管理費	841,556
営業利益	180,807
営業外収益	
受取利息	161
受取手数料	748
その他	483
営業外収益合計	1,393
営業外費用	
支払利息	1,108
支払手数料	1,206
営業外費用合計	2,315
経常利益	179,886
特別損失	
固定資産除却損	1,189
特別損失合計	1,189
税金等調整前四半期純利益	178,696
法人税等	67,892
少数株主損益調整前四半期純利益	110,804
少数株主利益	1,707
四半期純利益	109,096

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	110,804
四半期包括利益	110,804
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	109,096
少数株主に係る四半期包括利益	1,707

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 (千円)
	メディア事 業 (千円)	EC事業 (千円)	店舗事業 (千円)	その他事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	713,942	149,459	455,028	162,492	1,480,921	—	1,480,921
セグメント間の 内部売上高又は振替 高	—	1,581	2,635	40	4,258	△4,258	—
計	713,942	151,041	457,664	162,532	1,485,179	△4,258	1,480,921
セグメント利益	127,666	13,931	15,102	13,571	170,272	10,535	180,807

(注) 1. セグメント利益の調整額10,535千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。